



社労士のつぶやき(83) 事務所の広さと換気

労働安全衛生法には事務所衛生基準規則があり、その第2条に事務所の広さが定められています。専門用語ではこれを「気積」といいますが、気積は「従業員一人当たりにつき10立方メートル以上が必要」と定めています。例えば10メートル四方の広さで高さ3メートル（上限は4メートルまで）とすると、容積は300立方メートルになります。そこからデスクや棚、コピー機などの事務などの容積を差し引きます。仮に机や棚の容積が計25㎡だと差引75㎡となり、7人までOKということになります。気積はメジャーと電卓で簡単に測れるので、皆さんも一度試してみてくださいはいかがでしょうか。

問題は机です。机の上で仕事はできないから、その上の空間の容積も差し引くべきだ、という主張があります。確かに広いスペースで快適な作業は理想ですが、気積を図る本来の意味は換気の「気」のためであり、空気の入替えが重要だという趣旨です。そのため広さの基準を満たしていても、窓や空調設備が無ければ違反になるのです。

換気用の窓は、第3条で「床面積の20分の1以上の広さ」と定められていますが、空調設備で十分に換気されていれば窓は不要です。クーラーをかけていて窓を開ける人はいませんね。しかしこの度の新型コロナウイルスで、政府は会話で飛沫（エアロゾル）が浮遊するため、空調があっても窓を開けて空気を入れ替えるように指導していました。体感温度は個人差があり、人も入れ替わってウイルスも不安だから、換気も一概ではないのです。快適なオフィスづくりは本当に難しい。そしてもう一つ厄介な問題が、臭いです。

18世紀に始まった産業革命により、防腐剤が化学的に生成されるようになりました。その一つがホルムアルデヒドで、今も建築材に盛んに使われています。しかしホルムアルデヒドは特定化学物質に分類されている猛毒でありながら、沸点が低く気温が上がると簡単に気化して室内に漂います。事務所則では「1㎡当たり0.1mg以下に抑えること、新增築等の場合は6~9か月以内に測定すること」を義務付けています。化学物質に限らず臭いは非常にデリケートな問題で、それこそ個人差が激しい。かく言う私も加齢臭で周囲に迷惑をかける存在です。そういえばロシアの科学者であるエルネスト・ボーが、アルデヒドを香水に使って世に送り出した香水がシャネルのNo.5。ここは一つ、私も香水を使って・・・えっ、風呂入れって？

社労士事務所アジュール 高 龍弘

燃料カードの価格表【2022年10月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	153.0円
ハイオク	163.0円
軽油	135.0円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	152.5円
ハイオク	162.5円
軽油	126.5円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	151.1~153.1円	148.7~150.7円	147.3~149.3円
ハイオク	161.1~163.1円	158.7~160.7円	157.3~159.3円
軽油	124.4~126.4円	127.2~129.2円	125.4~127.4円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング'	FLEX & TRUST カード' (Shell)	TRUST & FLEX カード' (出光)	エネクスフリート
レギュラー	146.2~148.2円	148.8~150.8円	149.4~151.4円	144.6~146.6円
ハイオク	156.2~158.2円	158.8~160.8円	159.4~161.4円	154.6~156.6円
軽油	121.1~123.1円	127.3~129.3円	122.6~124.6円	122.6~124.6円

【価格は税抜】